

三月四日



定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五字一円 一行五元 五折
 日曜 休日の翌日休刊
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

家庭教育と母

千葉 右近

(2)

友達と繪本を見てゐる間に象とか鹿とか狼とか鶴とかの名稱を知り、其の概念を理解して来る。又折あらは子供を山に河に、或は市内の見物に同伴して、彼等が見聞した事につき質問するやうに仕向けてやることも大切だ。子供等は汽車を見て其の名稱を質問するであらう、其際こそ最もよき教育の機会、年相應な説明を與へ、尙詳しくことは書物によつて調べしめる様 参考書や指示してやることか子供等として自産的研究をなさしむるよき指導法であると思ふ。

第三には子供に小言や愚痴を言はぬことである。どこの子供も同じ様に子供はいたづらでかかん坊で仲々親の思ふ様にはならないものだ、だからと云うてこれを叱りとはし、つまらぬ愚痴を並べてはいかぬ。叱らずに教へよ、愚痴を言はずに矯正せよ、これは家庭訓練上の箴言だと思ふ。

何程小言を言つて、愚痴をこぼしたつてカルモチンを飲めばすぐ眠られる様に

効果の親面に現れるものではない。よい習慣と云ふものは母の落着いた人格から表はれる普段の行爲と無限の愛の教訓によつてのみ形成されるものである。

人間のほんたうの楽しみはお菓子や食べた時でもなく、お酒を飲んだ時でもなく、自分の考へて自分の努力で何物かを作り上げた時の完成の喜びこそ喜びのうち最も大きな喜びである。御婦人の方が一枚の木綿の袷を縫ひ上げた時には数時間の苦心した疲れも忘れて出来上つた袷を朗らかな笑顔と喜びに満ちた氣持で

0000000000
 明日の献立
 0000000000
 0000000000

【朝】清汁 とろろこんぶ 花かつを

【晝】油煮 蓮根 こんにやく 牛蒡 浸物 小松菜 花かつを

【晩】茶めし のつべい汁 豆腐 人參

見とれて居るではあるまいか。この時の喜びは、お菓子を食べた時の喜びに較べて遙かに高尚で、而も量に於て數倍多き喜びである。又この袷お木綿でなく銘仙とか金紗とか品質の上等であつた時は、縫ふ苦心も大きい完成の喜びも比例し

て大きい。

喜びとか嬉しみとか云ふものは、苦しみ、努力、難儀などと云ふものに伴ふもので、苦しみなくては楽しみは決して起らない。苦しみが多い程その次に來る楽しみは大きい。

畫家が數十日の日数を費して完成した作品に對する喜び、彫刻家が寝食を忘れた月かゝつて彫り上げた佛像に對する喜び、これは畫家ならざる彫家ならざる者の味ひ得ない喜びであらう。

しかし乍ら人間の喜びの最大なもの、袷を縫ひ上げた時でもなく、天下の名畫を書き終つた時でもなく、佛像を完成した時でもない生きた人間を育て上げた時の喜びこそ最大最大の喜びではあるまいか。

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡迴文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

男女工見習 右至急募集す 希望者來談あれ

常磐毎日印刷會社 長堤町 電話六三〇

お醤油は……ヤマフル

醤油味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品

鹽屋 金山崎合名會社

福島縣平町(電話營業部二〇製造工場七) 明治生命磐城代理店 山崎與三郎

是非!

御融通には御用命下さい 萬事便利な御相談に應じます

三井質店 平・四電六〇六番

外科 門線光 X

上田外科病院 平町 南三 電話一二九番

専門 産婦人科 花柳病科

井坂醫院 平町田町 電話五五九番

かまぼこ製造 杉屋

お惣菜用 さつまいも 吉原揚

平町一丁目 電話一四一番

長女綾子儀永らく病氣の處本日午後一時十分死去住り候に付此段御通知申上候敬具

追而送葬の儀は來る三月五日午後二時自宅出棺菩提院に於て執行仕るべく候

昭和十一年三月三日 父 鈴木彌太郎 外親戚一同

和漆器と家具は 平町一丁目 和全屋 電話四〇五番

産業 青年協議會

有意義に終了

眞剣な十分間演説に 女性も断然氣を吐く

縣主催産業實務青年協議會は昨日午前九時より小名濱小學校講堂で開催、縣より諸橋學務部長代理佐々木屬出席、演説者青年學校長及び産業教育振興會幹事、一般聴講者等約五百名参加し各町村選抜代表男女青年が眞摯なる職業上の體験談を十分に制限された時間内に發表、頗る有意義に午後四時閉會した。尙當日の辯士及び演題左の如くである

局と利用者の

協調懇談會

平局初の試み 十四日頃利用者を招き

平郵便局では郵便電信電話等の取扱が年々改善向上されて行くので一般利用者と局當事者との連絡協調を計る爲め来る十四日頃同局初の試みである利用者と局員の懇談會を局内に開き郵便電信電話に關する兩者の希望改善に就いて懇談する

馬價は上つた

石城駒糶

中寺市場を最初に 本郡下に於ける本年度駒糶市場は来る卅日から四月三日迄開く澤渡村中寺市場を最初に左の日程が開かれ、本年は各地の種牡母を始め農役馬に至るまでその賣買價格は増額され、居るの凶作續き、農村もこの駒

泉新妻好子「記帳生活に就て」大浦大樂正司「革新稼作法」三坂草野保一「商の道」平園谷定一「葱栽培の秘訣」神谷精崎惣治「温床の作り方」に就いて「神谷國井光義「我家の更生を指して」玉川齋藤庄一「ホームズパンに就いて」玉川橋本わか子「職業所感」豊間遠藤光一「我が農事實行組合の經營に就いて」鹿島蘭部平四郎

五日至八日△上遠野村黒田市十日至十二日△川前村補賣市七月四日至六日△上小川市七月九日

明年度傳習會

農事試驗場の十年度特別傳習會は来る八日終了するのと同場では十一年度傳習會を四月六日より開始し十一年度傳習會は十五回開くとに決定した

稲作改善の

研究發表

上遠野青年學校は過般來同校生徒の實地研究を續けてゐたが氏程稼作と氣象の關係温度湿度並に日照養分吸收状態よりみたる本年度の稼作」と題するプリント刷りパンフレットを全村に配布したが農業經營の指針として好評を博してゐる

第三區候補の舌戦

一人平均九十二人強

聽衆皆無も少々

這般の總選舉中第三區六候補の演説總回数は五百九十九回で聽衆器人員は五萬八千二百九十九人あるが一人平均の聽衆は九十二人強である、演説會中の最高回数ば星候補の百四十四回、最少回数は比佐候補の五十九回で回数から見て聽衆の多いのも、聽衆比例は植松候補が第一位で左記の如くである

- △植松候補(八九回)二萬六千四百六十五人△比佐候補(五九回)七千五百四十四人△鈴木候補(七一回)五千七〇人△星候補(百四十四回)一萬三千三百六十五人△松本候補(百二回)九千七十五人△氏家候補(百十六回)八千七百七十八人

石城産業組會で

強化週間に

映畫會と浪曲會

既報石城産業組合部會は来る六日から一週間に亘る組合強調週間に組合精神高調を計る爲め映畫の如く各種記念日を各組合に實施せしめる外十三日大浦、十四日磐崎、十五日植田、十六日赤井の各小學校に映畫會を催し更に十五日には平窪村で浪花節大會を開く等宣傳に大童である

好問の敬老會

信用組合は来る六日組合強調週間の催として小學校に組合員の學藝會及び敬老會を開く

町村財務講習

町村収入役の町村財務講習會は来る七日平町に縣地方課主催で開き町村財政確立を圖ることになつた

平町人事

△材木町三八當時神奈川縣川崎市大島二九三六緑川正さん(二ツ)
△鎌田町十七當時八戸市大字小中野町字中條、一、紅蔭智恵子さん(一ツ)
△鎌田町二九鹿島ッネさん

給料面談
△コック見習 廿才迄 尋卒 月五圓
△漁夫 五十才迄 月卅圓
△農夫 廿五才迄 月八圓
回 職を求め方
△電工 廿三才 高卒
△自動車助手 廿才 高卒
△小守 十一才 尋一修
△洋服裁縫 卅六才 尋卒

しもやけ家傳藥

是マデしもやけハ暖カニナラネバ治ラヌモノト諦ラメテ居ツタノガ一日二三回二三日ノ御使用テくずれたしもやけモ忘レタ様ニ完全ニ治リマス。

現今ノ塗藥トハ異リ卷法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。しもやけハ寒サノ爲ニ皮下毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノデ塗藥等デハ決シテ治ルモノデアリマセン、又くずれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリかゆみヲ増シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中心地良イ卷法ニヨリ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子様ガニモ喜バレ如何ニくずれたしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス是非一度御試シ下サイ。

東京丸井邦寶堂

福島兩縣特約

伊藤石炭店 電話三四九

石炭 コークス 豆炭



阿部石炭店

電話三十七番

平町各婦人團體で

地久節の佳辰奉祝

婦人報國祭その他舉行

三月六日全國一齊に行はれる地久節の佳辰、際し平町婦人會、愛國婦人會分會、國防婦人會分會、平町女子青年團の各婦人團體は此の佳節を日本婦人の記念日とする建前から婦人報國祭、母の會等を行ふことになり我等は日本婦人であると云ふ意識をハッキリ自覺すると共に婦人報國の赤誠を披瀝することになり、當日は『母の會』を催して、國母陛下の御高徳を偲び奉り相互修養を圖る外『婦人報國祭』の式典は翌七日(講師の都合で一日繰下げ)左記の如く舉行することになつた

- 一、集合三月七日正午平第二校々庭
- 二、開式午後零時十分
- 三、國旗掲揚、君ヶ代奏樂、一同注目敬禮
- 四、君ヶ代合唱
- 五、式辭朗讀
- 六、宣言
- 七、遙拜(皇太神宮、宮城)
- 八、天皇 皇后兩陛下 皇太子殿下 萬歲三唱
- 九、國旗降下
- 十、講演(第二校講堂に於て(愛國婦人會專任講師杉本春喜先生))

東都殉職警官に

サラリーマン氏寄贈

去月廿六日東京市に起こつた事件の殉職警官並に遺族に對しては全國的にその救援活動が行はれてゐるが警城無盡會社相馬原の町出張所員寒河江梅吉氏から四日午前中平署に左の如き書面に金五圓を添へて寄附あつたので署員を感激させてゐる

『首相官舎警備の任に當り一命を捨し、最後まで御警護を果たしました事は誠に深く感謝致すもの

小名濱町警備市場敷地壹萬坪埋立は去る一月中着工現在は八分通り完成した爲近く総工費四萬四千圓で市場

近く建築着工
埋立は八分通り完成

感心な獨學少年

汗の結晶を寄附

勿來町大字窪田字町通り長太郎氏長男砂川富次君(一)は二年春尋常科を卒業以來家業の鑄掛職に従事する傍ら讀方、書方等の獨學を續けてゐたが爾來二年霜一日として勉學を怠つたことなく去る紀元節の佳日を以つて努力の結晶たる十餘冊の部厚な冊子と白數十枚の

清書を母校たる勿來小學校にこの程持参し折學校長始め職員一同を感激せしめた尚、冊子は全部毛筆で丁寧に認められて居り同君は在學中成績不良で危く再修の浮日一連はんとしたのに發奮、家業に専念する隙に懸命な努力を續けて來たものであると

永い冬あけて...

漂客に春は朗か

平町鎌田遊廓はカフエー料亭店等の進出に押されて年々衰微を辿つてゐるが昨年中の遊興人員合計八千五百五人で金額一萬五千四百五十八圓五十錢になつて居り

鎌田遊廓昨年中遊客調
一年中を通じて、四月は八百九十五人で千六百十五圓七十錢のトップを占め、十二月中の八百三十八人、千五百四十五圓八十錢が第二位となつてゐるが之等は永い

五
の
う
た
の
う
た
の
う
た

- 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間
 - ハルモニカ台奏 東北學院中學校ハルモニカバンド
 - 後六、一〇 基礎英語講座
 - 後七、一〇 熊狩座談會
 - 司會安齋徹

- 明日の部
- 後八、一〇 管絃樂 大木正夫指揮 新交響樂團
 - 後八、四〇 新内「關取千兩轡」富士元津賀太夫
 - 後九、一〇 漫談「ラグビー」井口静波
 - 後九、二〇 時報 ニューズ 明日の話題 氣象通報 番組豫告

- 前七、〇一 基礎ドイツ語講座 武内人造
- 前七、三〇 朝の修養 日本婦人の鑑 吉田松蔭の母 廣瀬豊
 - 前九、〇〇 衛生メモ
 - 前九、三〇 家庭講座 「春先、皮膚病、疾患」久保山高敏
 - 後一、〇〇 五モダン小咄 深見泰三他
 - 後二、〇〇 小學生尋四理科の時間「人と火」東京理科ヨドモ會
 - 後二、四〇 小學生尋五地理の時間九州の旅 山田重治他 福岡、熊本、長崎

- 鹿兒島より
- 後六、〇〇 子供の時間 お話「早春のこん蟲」大町文術
 - 後六、二五 趣味講座「現代建築學より見た茶室」武田五一
 - 後七、三〇 農家の時間 「農作物品種改良の知識」寺尾博
 - 後八、〇〇 常磐津一若木花容彩四季」常磐津三東勢太夫
 - 後八、三〇 浪花節一越後傳吉」小金井太郎
 - 後九、〇〇 俚諺一津輕じよんから節他」今重造他

冬中の鬱積した氣力が春の訪れと共に花に遊ぶ自然の景況と見るべくそれにより十二月は何と云つても慌しい年末風景を物語つてゐるが現在に残る三軒の營業者で此の數字は案外悲觀する程の悪成績ではないと見られてゐる

神谷産青年 神谷村體験度談會 産業青年團は本四日午後一時より小學校に體験發表座談會を開き農事分場矢ヶ崎技手の批評を受けた

弓道階級試験 武徳會福島支部主催石城郡下弓道一般階級試験は来る廿九日平署演武場で行はれる

東電見習試験 東部電力會社平營業所の見習工採用試験は本四日午後一時から同營業所で行はれた

養豚家座談會 縣衛生課では郡内養豚業者及商人に家畜衛生思想普及の爲め来る廿一日平窪 廿二日泉の兩村に養豚座談會と映画會を開く

海軍記念日に 警城中學校の催し 警城中學校は来る十日の陸軍記念日に際し午後二時半より同校講堂で横須賀鎮守府川仕海軍中佐千葉惠藏氏の「海軍縮小會議協定不成立とわが國民の覺悟」と題する軍事講演を行ふ

軍縮講演 警城中學校の催し 警城中學校は来る十日の陸軍記念日に際し午後二時半より同校講堂で横須賀鎮守府川仕海軍中佐千葉惠藏氏の「海軍縮小會議協定不成立とわが國民の覺悟」と題する軍事講演を行ふ

皆様の足? 尼子タクシーへも豆タクが入りました 御立關から玄關へ 迅速簡便 是非御利用を

市内 三〇錢
市外 四割引

宮行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

流線型セダン
大型貸切バス

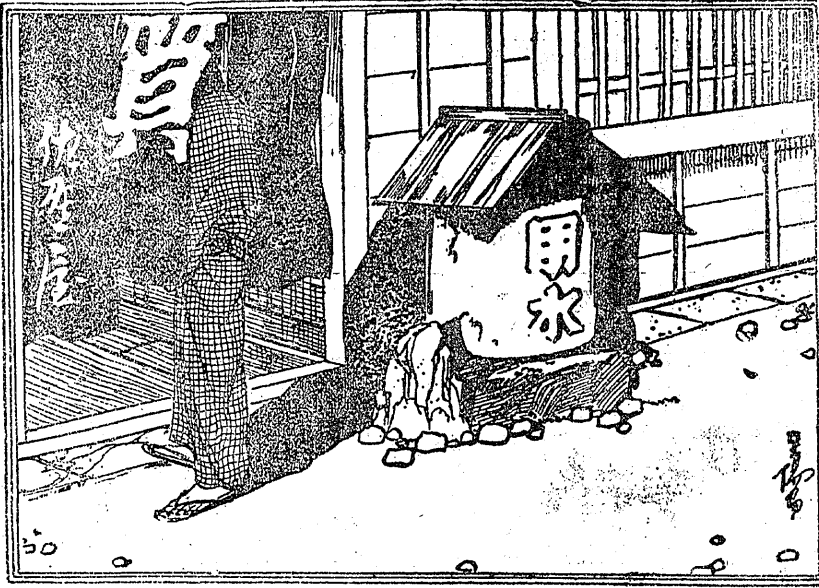


（探上談） 悟道軒圓玉（作） 丸尾至陽（書）

六三 この面で五兩

青木に岡田は山谷堀の船宿山崎屋で藝妓を三人あつめての豪遊、猪口で金を掬ひ一つつと興へた。たゞ持つて来た金とて思ひ切つて使ふ藝妓は大喜び、この女將や女中共にま猪口に一杯づゝの金を祝儀としてあつたが福の神が舞ひ込んだと大事にする、なほこの當時花川戸に居つた彼のおはなを呼びよせ夜あけるまで酒にしみ遊んでゐたが雨もやみ朝日は二階の窓に映じて好天気を知らせる

ここで酒宴を止め駕に打乗り青木は岡田と共に根岸の別荘に引取つたが部下の者を呼びあつめてこの金を分配して、なほまた外國人を討拂ふ必要品、即ち武器を買ひ入れることにした。青木の部下には浪人者の他に旗本の次三男、また無頼漢なども居る、このうちで神田の八百松といふものもつとも名が知れてゐた、これは明治七八年まで生存してゐたが入獄したことがおよそ廿三度、その罪状は賭博犯と喧嘩、他に金を強請つたことも有るが窃盗や強盗はしない、後に改心し



下野の庚申山を開き神道の行者になり、自分が若い頃の懺悔談をして人々を教訓したが、これは神田の豊島町に住んでゐる八百松といつては江戸時代を經た古

老は知つてゐる無法者、この八百松が青木に知られたに就てはこゝに興味ある逸話があります、神田の水屋敷で遊んでゐた時に賭博で負て一文無しになり金算段をしやうとそこを飛び出して三河町の佐野屋といふ質

屋に來た、この時は八百松が廿四の時であつたさうです。折しも極寒の十二月温袍一貫二重廻りの白木の三尺を締め甚だ粕末の服装松「オイ番頭さん、小遣ひを借り來たぜ」といつた。佐野屋の番頭は帳場格子を前にして帳簿を調べてゐたが

番「へエ、何ういふ品物を御持參になりましたか品物を拜見いたしませう」松「品物か、品物はこんなんだがこれで五兩貸してくんねえ」

番「へエー、どんな品物でございませう」松「これだなア、これで貸してくんねえ」顔をビタリとたゞいて松「この面で貸してくんねえ」

顔を藏へしまつて置くこともありません、何ぞ他の品物を持つて來て頂きたいものでございませう」松「品物がある位ならば面で貸してくれとは云はねえよ、品物がねえから面を持ち込んで來たんだ、八百松といふごろつきの面で貸してくんねえ、一夜明けて松がとれるまでには利を付けて持つて來るぜ」

松「別になじしいこともねえ小遣ひと賭ち資本にするんだ」

松「それだから、俺の面で貸してくれといつてゐるぢやアねえか」番「それは困りますナ、あなたの顔は取り外しにはなりません、して見ればその

福島縣平町二丁目

西村屋藥舖

藥師 鈴木堅助

電話 三三番 振替(東京六・二九九 仙臺一・二〇一)

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町 (電話五八番) 藤田女學校前

Advertisement for 'Resto' (レストラント) featuring a cartoon character and the text '平岡詔' (Hirayama Naomasa) and '電話 524'.

Advertisement for 'Insan' (靈効散) stomach medicine, featuring a logo and text: '胃腸藥 靈効散を御試し下さい'.

Advertisement for 'Aikyo' (阿康藥局) pharmacy, located in Hirayama, featuring text: '平町古鍛冶町縣社ノ下 阿康藥局'.

Advertisement for 'Sanyo' (山内醫院) hospital, featuring text: '耳鼻咽喉科専門 山内醫院'.